

福岡市学習定着度調査4年生の結果について

4年生は9月4日に福岡市学習定着度調査を行いました。その結果をお知らせします。

1 調査内容

○国語，算数

※ 本校の正答率が福岡市平均と比べて「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかについて表記しています。

2 結果の概要

(1) 国語及び算数の福岡市平均と比べての結果と正答率

| 教科 | 福岡市平均と比べた正答率 | 正答率が高い問題 | 正答率が低い問題 |
|----|--------------|------------------------------|------------------------------|
| 国語 | 上回っている。 | ○物語文や説明文を読み作者の意図に従って読み取ること。 | ●設問の意図に従って文を書くこと。 |
| 算数 | 上回っている。 | ○余りのある割り算や数の構成，数の仕組みを理解すること。 | ●かさや長さ時間や重さの量感及び図形の性質を捉えること。 |

(2) 生活習慣に関するアンケート

| よ さ | 課 題 |
|---|--|
| ○テレビやゲームをする時間が福岡市平均と比べて少なく，時間を決めてテレビを見たりゲームをしたりしている子どもが多い。 ○家での学習をしている児童が福岡市平均よりも高い。 | ●今住んでいる地域の行事に参加する児童が福岡市平均と比べて少なく，地域社会でのボランティア活動を行っている児童が少ない。 |

3 総評

国語も算数も全体的に高い正答率になっています。

国語では，物語文や説明文など作者の意図にそっての読み取ることなど高い正答率になっています。ただ，文を書くこととなると課題が見られる点もあります。

算数では，特に余りのある割り算の基本問題についての理解は十分にできています。しかし，かさや長さ時間や重さの量感及び図形の性質を捉えることについては，課題があるようです。

生活習慣に関するアンケートでは，テレビの視聴時間やゲームをする時間などメディア

に依存する時間は短くなっていて、しかも、ゲームをする子どもにおいても、決めた時間以内で終わっている子どもが多いようです。一方、地域行事の参加の割合や地域でのボランティア活動をしている児童の割合が少ない傾向にありました。

4 今後の取り組み

- 算数においては、チームティーチングや個別指導などを通して子ども達の習熟の状況に合わせた補充学習に取り組みます。
- 宿題だけでなく、4月に配付した家庭学習の手引きを踏まえ、能動的な学習習慣をつかっていけるよう支援していきます。
- 読書は基礎的な学力を身につける点で重要です。「読書週間」の取り組みやPTAの図書ボランティアによる読み聞かせを通して、読書に取り組んでいく場を設定し、文章読解力や語彙が身につくようにします。
- 「ノーテレビ・ノーメディア」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みを継続し、生活習慣を整えていくようにします。